

2026 年度必携ノート PC の推奨スペックについて

工学部 土木工学課程 都市・環境コース

芝浦工業大学では、多くの授業においてパソコン(PC)を使用します。大学や自宅などで常に身近において効率よく学修できるよう、各自ノート PC をご準備いただくこととなっております。このことは、各自が PC 環境を構築・維持する能力の醸成の意味もあります。

以下に、必携ノート PC の推奨スペック、推奨機種を記載しますので、よく読んでからPCを購入してください。

推奨スペック

- 形状およびディスプレイサイズ
ノート PC 型(ふつうの形「クラムシェル型」が良い。タブレットや 2in1 などではないもの)。13～14 インチサイズを推奨する(高精細画面や 4K モデルでなくてよい。13 インチ以上であればキーピッチが 19mm 程度であり、レポート作成で疲れない。重い 15 インチでも問題ない)
- OS
Windows(土木での業務に使う PC のほとんどは Windows。OS 選定に悩むなら Windows が良い)
- CPU
Intel:最近の世代の Core i5 以上、または Core Ultra 5 以上
AMD:Ryzen 5 以上
ARM:不可
- メモリ
16GB 以上(予算の余裕があれば 32GB 程度も推奨)
- 内蔵ディスク
SSD で 256GB 以上(予算の余裕があれば 512GB 以上)
- 重量
持ち運びに困らないもの
- 無線 LAN
Wi-Fi6(IEEE 802.11ax)、又は Wi-Fi6E 対応推奨。大学内であれば学内 Wi-Fi が使えるので、LTE なしモデルで問題ない。
- USB ポートが 2 つ以上あるモデルだと良い(USB ポートが少ないモデルは、USB ハブの別途購入で対応可)
- 日本語キーボード、英語キーボードの指定なし

その他

- 周辺機器等
 - カメラ、マイクの準備が必須(ノート PC に内蔵のもので構わない)。
 - 外付けマウスはあったほうが良い。
- ソフトウェア
Microsoft Office、Adobe Creative Cloud 等は大学が包括契約しているので不要
(サイトライセンスソフトウェア <https://scomb.jp/site-license-software>)
- 自宅等におけるインターネット接続環境
通信容量に制限がなく、通信が安定している環境を準備すること。
- ファイルの定期バックアップ用に外付けハードディスクも購入すること。(500GB 程度あれば当面は十分)

- 5～8 万円程度のノート PC だと、理系の学生が使う PC として非力であり、毎年買い替えになりそう。15～20 万円程度のノート PC だと、2～5 年は持つ。15～20 万円程度のノート PC のほうが実際のトータルコストは良い。
- iPad、Chromebook、12 インチ以下のノート PC、2in1 ノート、MacBook、Linux OS の PC などは、メイン PC としては非力であったり、授業や研究で扱うソフトウェアをインストールできない場合があったりするため、作業性が低い。使いたければ、サブ PC(メイン PC の補助)として揃えるとよい。当面はスマホをノート PC の補助に使える。2～4 年生あたりでメイン PC だけで不十分な人は、サブ PC を準備すると良い。
- 3 年生以降に必要な PC スペックは、研究室ごとに大きく異なる。
- 卒論と修論では、ほとんどの研究室でデスクトップ型 PC が使える。

推奨機種

[Panasonic Let's noteCF-FC6](#) (芝浦工業大学生協オリジナルモデル)

＊具体的な機種例を示して欲しいとの声がある事から、推奨スペックを満たし、購入後のサポートがある上記モデルを推奨機種としました。

以上の情報を読んだうえで、自分でノート PC を選定してください。

どの製品を買えばよいか、具体的なメーカー名・製品名などの指定は課程からはしません。

本件に関する問い合わせ先:

芝浦工業大学 2026 年度入学生必携ノート PC に関する問い合わせフォーム <https://surl.jp/DTe2899d>